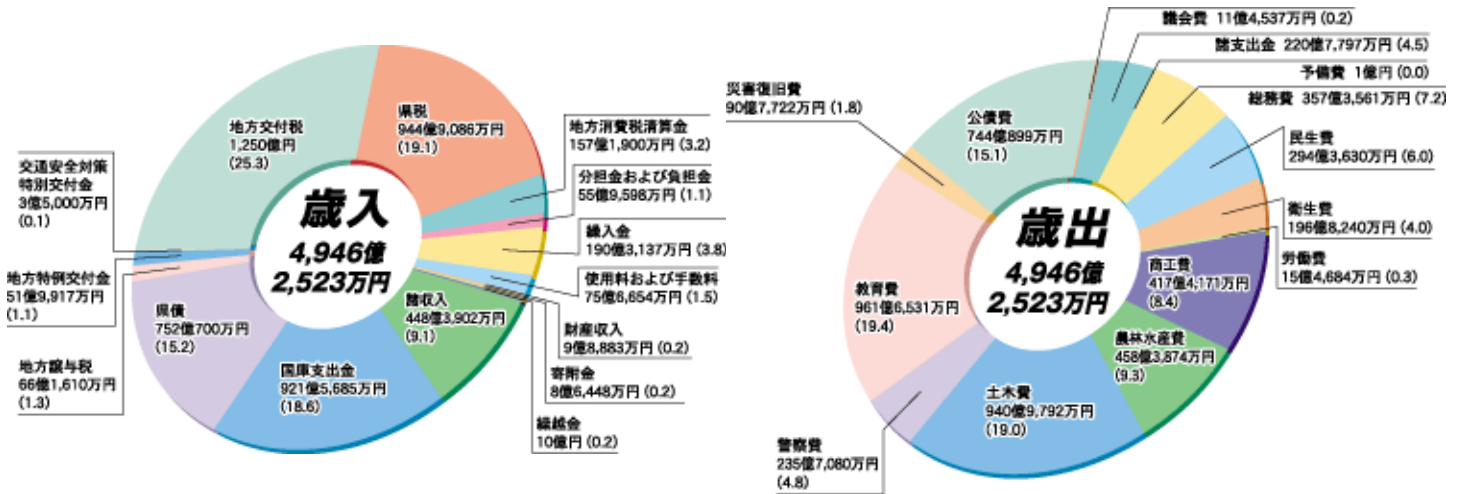


2005年3月20日(日曜日)

平成17年度当初予算成立

～具体的な成果を実感していただくために～



※図をクリックすると拡大表示します

平成16年度当初予算の規模

会計区分	17年度当初予算額	対16年度当初予算額比(%)
一般会計	4,946億2,523万6千円	98.8
特別会計	188億1,842万6千円	68.4
企業会計	344億7,186万4千円	82.5
計	5,479億1,552万6千円	96.2

平成17年度当初予算 総額5,479億円

予算の概要

18日閉会した第342回定例県議会で、平成17年度当初予算が可決、成立しました。

予算の規模は、一般、特別、企業の3会計の合計で、総額5,479億1,500万円余。

本県の財政状況は、依然として厳しい状況にありますが、事務事業の見直しや人件費、公債費などの義務的経費の削減により財源を確保しながら※、知事のマニフェスト「福井元気宣言」に掲げた4つのビジョンと「挑戦(チャレンジ)ふくい—福井県経済社会活性化プラン—」をはじめとする各種プランに掲げた施策を確実に実行することを基本としました。

特に、農業の振興など「産業の活性化」や「未来を託す子どもの育成」「高速交通体系整備の具体的促進」など6つを重点課題として、これまでの成果をより大きく結実させるよう「実行・行動」し、県民の皆さんが具体的な成果を実感していただけるようメリハリのある積極型の予算編成を行いました。

※財源の確保に向けた取組み

「福井元気宣言」実現のための財源確保や財政健全化などを図るため「行財政構造改革プログラム」を推進しています。

この結果、財政調整基金等3基金残高の確保など各種の財政指標について当初の目標を達成できる見通しです。また、プライマリーバランス(借入金とその償還を歳入・歳出それぞれから除いた場合の財政収支)についても、平成12年度以降黒字を維持しており、平成17年度も黒字となる見込みです。

予算編成の工夫

●政策議論の実施

新規施策についてはすべて知事と部局長とが事業の成果等について議論する政策議論を行いました。

●部局を超えた仕事の推進

行政の縦割りの弊害をなくし、部局を横断した政策課題の迅速な解決や県民の安全・安心、健康長寿を一層推進するため、複

政策議論では、現場の状況を十分分析しているか、全国の状況や政策の情報把握を行っているかなど、現状の「分析」を特に重視し、全国レベルの政策競争を進める「仕事の進め方改革」の実現に向け、事業の「選択と集中」に努めました。

公共事業については、昨年度の予算編成では、県単独事業を対象にその必要を一件ずつ審査する方法（一件審査）を導入しましたが、今回は、国庫補助事業などにも一件審査を拡大し、現場主義を徹底しました。

●職員提案型予算外事業の実施

職員の日頃の仕事の業務改善活動をさらに発展させ、既存の事業や施設の有効活用、将来の事業展開に向けた施策の企画立案など職員の創意工夫を凝らした特別な予算措置を伴わない事業を積極的に取り入れました。



眼鏡の生産100周年による情報発信や継体天皇即位1500年などのアニバーサリー（周年）を活用した事業の企画立案を進めます

●政策形成過程からの県民参加

県民に身近な県政を進めるため、「予算編成過程への県民参加」に寄せられたご意見・ご提言や、「福井女性会議」、「座ぶとん集会」などを通じてお聞きしたご意見などを事業に活かすよう努めました。



県民の皆さんのご意見を踏まえ、食育活動や子どもの見守り活動などを推進します



数の部局が一つの政策課題に向かって連携・協力する施策を積極的に実施します。

●県民とのパートナーシップ

子育て支援や教育、防犯体制の充実などの分野においては、行政と地域住民、ボランティアなどの皆さんとの協働が重要であり、今回の予算編成において、こうした事業をさらに充実・発展させました。

また、北陸新幹線の整備促進に向けた財源確保のため、本県で初めて住民参加型のミニ市場公募債を発行します。



小学校1、2年生を支援するボランティア活動など住民の皆さんやNPOなどとの協働を進めます

6つの重点課題

産業の活性化

●農業の振興など産業対策

経済の活性化については、「挑戦ふくい」に基づき、産学官共同研究への企業の参加促進や創業支援、企業誘致などを着実に推進していきます。

また、本県の健康長寿を支え、地域コミュニティや景観の維持・保全、高齢者の雇用・生きがい・健康に大きな役割を果たす農業を振興するため、収益性の高い園芸作物の生産拡大など企業型農業への転換の推進や農業人口の約9割を占める兼業農家への支援を行います。林業分

野では、「木を伐る」、「木を使う」に重点をおき、「県産材を利用した家づくり」など木材の流れを太くする施策や間伐の推進に取り組んでいきます。

「コシヒカリ」や新品種「イクヒカリ」など福井のおいしい米や、里芋、水菜、赤かぶなどの野菜を「健康長寿の福井米・福井野菜」としてブランド化を図りながら、販売促進を支援します。

食の安全についての関心が高まる一方、食生活の乱れが指摘されている中、「福井女性会議」の提言も踏まえ、食育ボランティア等による地域における食育活動に対する支援、学校の食育授業の充実や給食への県産農林水産物の活用などを積極的に推進します。



園芸作物の生産を振興します



新品種「イクヒカリ」の販売促進を支援します

●観光誘客の促進(ビジットふくい)

これまでの宣伝中心の観光施策から地域としての観光地の魅力づくりへと施策を転換し、「観光地の活性化」や「観光の人づくり」など、4つの戦略により強力に施策を展開します。



「語り部」など観光の人づくりを進めます

●エネルギー研究開発拠点化計画の推進

本県を原子力を中心としたエネルギーの総合的な研究開発拠点地域とするため、国や関係自治体、産業界、研究機関等で構成する「エネルギー研究開発拠点化推進会議」や、研究、地域産業への技術移転、研修などをコーディネートする拠点化推進組織を設けます。

未来を託す子どもの育成

●少子化対策

子育てに伴う負担軽減を図るとともに、企業が子育てを応援しやすい環境の整備や父親の育児への参画の促進、男女の出会いの場づくりの支援などに取り組めます。



子育てを支援するさまざまな施策を進めます

●子どもの安全・安心

子どもが被害者となる悲惨な事件や児童虐待が起こらないよう、地域住民、PTA、教職員などの参加による全国にも例がない3万人規模での見守り活動の実施や児童相談所の相談体制を24時間365日体制にするなど児童虐待問題への対応を強化します。

また、小児科医による夜間電話相談や、心身に障害がある児童が身近な医療機関で専門的な診療やリハビリが受けられる体制を整備します。

県立学校やスポーツ・文化施設には、子どもたちをはじめ、県民の突然死を防ぐため、AED(自動体外式除細動器)を整備します。

さらに、県単独事業としては全国で初めて、小・中学校の耐震診断と耐震補強工事を助成し、5年間で耐震化の緊急度の高い小・中学校の建物を100%耐震化します。

高速交通体系整備の具体的促進

県民の長年の悲願であった北陸新幹線の県内着工については、福井駅部の認可と新幹線本体予算による着工、南越・敦賀間の工事実施計画の認可申請が決定され、平成17年度から建設工事に着工します。

高速道路では、舞鶴若狭自動車道(小浜西～敦賀間)、中部縦貫自動車道の整備を推進します。

また、福井鉄道が行う低床車両への車両更新、福井鉄道とえちぜん鉄道の相互乗り入れなどを支援します。
企業の敦賀港、福井港の利用を一層促進するため、物流コストを抑える支援策を実施します。



北陸新幹線や高速道路の整備を進めます

危機対策の強化

●災害に強い県土づくり

福井豪雨災害でその重要性が明らかになった災害ボランティア活動を一層推進するとともに、福井豪雨災害からの復旧、再度災害の防止に引き続き全力を上げて取り組みます。

●有事への対応と治安回復

武力攻撃など有事への対応では、昨年末、全国で最初に作成した福井県版の国民保護計画の内容を充実していくとともに、県民の皆さんへの普及啓発、国・市町村・消防・警察と共同の図上訓練などを実施します。

また、県と警察が共同で策定した「福井治安回復プログラム2005」に基づき、県民の皆さんが治安の向上を実感できるよう、「ふくいマイタウン・パトロール隊」の拡充、防犯ドクター（防犯設備士）による住宅の防犯設備診断などの対策を実施します。

交通事故の原因として、特に、スピードオーバー、交差点での交通事故が多いことから、安全速度を守る、信号を守る、反射材を使う、に重点をおいた「交通安全スロー・シグナル・シャイン（3S）運動」を県民運動として推進し、交通死亡事故の抑止に努めます。



有事への対応と治安の回復に努めます

健康長寿（ふくいブランド）

「健康長寿」を本県の誇るブランドにしていくという基本戦略に基づき、健康長寿の研究拠点となる県立大学を中心に、県立病院、農業試験場、食品加工研究所などの関係機関で「健康長寿ふくい推進機構（仮称）」を形成して、保健、医療、産業など幅広い分野における調査研究、商品・食品開発等に取り組み、その成果を用いて「健康長寿ふくい」を全国に発信します。

また、健康に優れた乗り物として、県民の自転車利用を一層促進するための取組みをスタートさせます。

福井の地で眼鏡枠の生産が始まってから今年で100周年を迎えることを記念し、産地の一層の発展を目指して「眼鏡産地福井」を全国に広くアピールします。この他、岡倉天心「茶の本」出版100周年（2006年）、継体天皇即位1500年（2007年）などのアニバーサリー（周年）を活用した事業の企画立案を進めます。



「健康長寿」を全国に発信します

文化の振興、特に国民文化祭・ふくい2005の開催

本年10月の「第20回国民文化祭・ふくい2005」を通じ、本県の優れた歴史文化、伝統文化、精神文化などを全国に向け情報発信します。

また、本県の文字文化・書道文化をブランドとして全国に情報発信するため、まず、本県出身の文化勲章受章者である白川静博士の研究成果を県立図書館で展示し、広く普及させます。

全国で初めて、伝統的民家の普及促進に関する条例制定の検討や伝統的民家の新築、改修への

補助を行います。



「国民文化祭・ふくい2005」を開催します

重要課題における主要施策

重要課題	区分	事業名	予算額	備考
産業の活性化				
農業の振興など産業対策	新	坂井北部丘陵地農業経営体育成モデル事業	6,800万円	チャ 県民
	新	農業者経営夢プラン支援事業	1,007万円	チャ 県民
	新	新規園芸産地形成事業	2,070万円	チャ
	拡	高収益園芸品目緊急育成事業	8,040万円	チャ
	新	「ふくいの森とつながる家づくり」推進事業	727万円	チャ
	新	栽培漁業自立支援事業	628万円	チャ 県民
	新	ふくいの「食」インターネット通信販売実践事業	465万円	チャ 県民
	新	新品種「イクヒカリ」販売推進事業	1,100万円	チャ 県民
	新	元気いきいき福井をつくる食育推進事業	4,256万円	チャ 県民
	新	Uターン情報センター等機能強化事業	460万円	チャ 県民
	新	ふくい産力強化国際特許出願経費補助事業	1,200万円	チャ
	新	県立図書館サービス向上事業	133万円	
	観光誘客の促進 (ビジットふくい)	新	観光プロデューサー設置事業	1,079万円
新		観光地・民宿集積地域活性化支援モデル事業	12,025万円	チャ 県民
新		通訳ボランティアガイド育成事業	160万円	チャ 県民
新		「学びの旅」誘致事業	380万円	チャ 県民
拡		東アジア観光客誘致促進事業	1,598万円	チャ
エネルギー研究開発拠点化計画の推進	新	エネルギー研究開発拠点化推進体制整備事業	442万円	チャ 県民
未来を託す子どもの育成				
少子化対策	新	子育てマイスター地域活動推進事業	253万円	県民 電源
	拡	すみずみ子育てサポート事業	538万円	チャ 電源
	新	子育て支援職場づくり推進事業	910万円	チャ 県民
	新	企業の父親子育て奨励事業	4,743万円	チャ
	新	若者出会い交流応援事業	465万円	
子どもの安全・安心	新	子ども安心3万人作戦	3,450万円	県民
	新	24時間・365日児童相談事業	793万円	県民
	新	地域ぐるみ児童虐待防止体制整備事業	479万円	県民
	新	自動体外式除細動器(AED)普及事業	2,586万円	県民
	新	#8000子ども医療電話相談事業	1,452万円	県民
	新	地域療育拠点設置事業	1,350万円	県民 電源
	新	小・中学校耐震化促進事業	5,670万円	

	新	木造住宅耐震診断促進事業	770 万円	県民	
高速交通体系整備の具体的促進					
	新	北陸新幹線建設事業	33,861 万円		
		舞鶴若狭自動車道整備推進事業	30,100 万円		
		中部縦貫自動車道整備推進事業	974 万円		
	新	福井鉄道低床化補助事業	7,550 万円	県民	
	新	県内港湾貨物集荷推進事業	1,375 万円	チャ	県民
危機対策の強化					
災害に強い県土づくり	新	災害ボランティア活動マニュアル作成事業	137 万円	県民	
	新	砂防激甚災害対策特別緊急事業	330,000 万円		
	新	治山激甚災害対策特別緊急事業	66,465 万円		
有事への対応と治安の回復	新	福井県国民保護計画推進事業	524 万円		
	新	犯罪に強いまちづくり推進事業	275 万円	県民	
	新	ふくいマイタウン・パトロール隊育成・支援事業	1,482 万円	県民	
	新	交通安全スピードダウン運動事業	525 万円		
	新	「ストップ・ザ・交差点事故」重点支援事業	382 万円		
健康長寿(ふくいブランド)					
	新	県立大学健康長寿研究拠点化事業	205 万円	チャ	
	拡	県民参加による県立大学地域貢献研究推進事業	3,058 万円		
	新	健康長寿バイスクール事業	151 万円	チャ	
	新	ふくいの情報発信強化事業	410 万円	チャ	
	新	眼鏡産地100周年記念事業	1,400 万円	チャ	
文化の振興、特に国民文化祭・ふくい2005の開催					
	新	第20回国民文化祭・ふくい2005開催事業	121,800 万円		
	新	ふくい漢字学習推進事業	745 万円	県民	
	新	福井の伝統的民家普及促進事業	2,352 万円	チャ	県民
	新	福井の景観づくり推進事業	287 万円	チャ	県民

注) 予算額欄 金額は、千円単位で切り捨てし、万円単位で表示しています。

区分欄 **新**…新規事業 **拡**…事業内容を拡充した事業

備考欄 **チャ**…「挑戦(チャレンジ)ふくい—福井県経済社会活性化プラン—」を具体化するための事業

県民…「県民参加」=福井女性会議、座ぶとん集会、予算編成過程への県民参加による県民の皆さんに政策形成過程に参加していただいた事業

電源…「電源」=本県の提案に基づき用途が弾力化された電源交付金・補助金を有効に活用して実施する事業